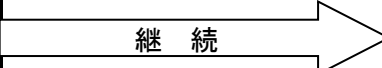


第3次桑名市行政改革大綱「実施計画(継続)進捗管理シート」

NO.	2		①	4		継続(第4次)			
実施項目	市債借入の抑制			担当部課名	総務部 財政課	担当課電話番号 0594-24-1137			
基本方針分類	大項目	2	安定的な財政経営	中項目	1	計画的・効率的な財政経営	小項目	1	中長期財政計画に基づく財政経営
課題と目的	本市は、公共施設を整備する際に市債を発行してきましたが、その償還による公債費が増加しています。市債は、地方自治体の資金調達手法として不可欠ですが、景気の不透明感により市税の大幅な増収が見込めない中で、高齢人口の増加による社会保障費の増大が避けられないため、市債による後年度への財政負担は極力抑える必要があります。								

1 実施内容

全体実施内容	・実施計画(継続)期間内における一般会計の毎年度の新規借入額の平均を、臨時財政対策債を除き予算額の5.5%以内かつ元金償還額以内とし、市債残高の計画的な縮減を図ります。		
計画期間	平成 25 年度 ~ 平成 26 年度		
年度計画	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	・新規借入額を、予算額の5.5%以内かつ元金償還額以内に抑制		第4次行政改革大綱へ継続
実績	・25年度の新規借入額は元金償還額以内で、予算額に対する比率(単年度)は、計画値以内となった。	・26年度の新規借入額は元金償還額以内で、予算額に対する比率(単年度)は、計画値以内となった。	効率的・安定的な財政運営(カネ)財政基盤強化 中期財政計画に基づく財政経営

2 成果指標

NO	成果指標名	成果指標式及び単位	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度
A	新規借入額	【億円】 (臨時財政対策債を除く)	計画	元金償還額	元金償還額	第4次行政改革大綱へ継続
			実績	15.3	21	
B	予算額に対する新規借入額の比率	新規借入額/予算額×100 【%】 (臨時財政対策債を除く)	計画	5.50%(3カ年平均)		
			実績	3.40	4.33	
C	市債残高	【億円】 (臨時財政対策債を除く)	計画	325	320	
			実績	299.6	284.1	
D			計画			
			実績			
E			計画			
			実績			

3 進捗評価と今後の方向性

進捗評価	評価の理由・今後の課題、展開方針
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 概ね計画どおり <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> その他 ()	26年度の臨時財政対策債を除く市債の元金償還額は36.8億円、新規借入額は21.3億円でした。予算額に対する新規借入額の比率(単年度)は4.33%となり、計画額を下回りました。 第4次では、実施項目「中期財政計画に基づく財政経営」において、新しい計画に基づいて取り組みを進めていきます。